

歴史的景観保全事業  
平成 28 年度事業実績

横浜市都市整備局都市デザイン室

平成 29 年 11 月 1 日

## 目次

### 事業の概況

#### 1 歴史的建造物の保全活用

- (1) 歴史的建造物の登録
- (2) 歴史的建造物の認定
- (3) 歴史的建造物台帳登録調査
- (4) 現状変更行為に対する指導及び助言
- (5) 歴史的建造物の保全契約
- (6) 特定景観形成歴史的建造物
- (7) 歴史的建造物に対する助成
- (8) 歴史的景観保全委員
- (9) 文化財等の活用に関する検討

#### 2 「歴史を生かしたまちづくり」に関する普及啓発

- (1) 技術者向け施工現場見学会の開催
- (2) 広報紙等の発行
- (3) 歴史を生かしたまちづくりセミナーの開催
- (4) 区や市民団体、歴史的建造物所有者との連携によるイベントの開催
- (5) その他のメディアによる普及啓発
- (6) サイン等の整備

#### 3 その他

- (1) 歴史を生かしたまちづくり相談室の運営
- (2) 関連団体等
- (3) 新たな制度検討

#### <添付資料>

- ・ 横浜市認定歴史的建造物一覧表
- ・ 横浜市登録歴史的建造物保全契約一覧表
- ・ 横浜市特定景観形成歴史的建造物一覧表
- ・ 第14期 横浜市歴史的景観保全委員名簿
- ・ 歴史的景観保全事業 事業費の推移

## <事業の概況>

横浜には、都心臨海部を中心に、開港以来の近代建築や西洋館、土木産業遺構が残されており、郊外部には、農村の風情を伝える古民家や社寺が残されています。これらの歴史的資産を再評価し、まちづくりの資源として位置付け、保全活用を積極的に行っています。

昭和 63 年度に施行した「歴史を生かしたまちづくり要綱」に基づき、景観的に価値の高い歴史的建造物を「登録」し、そのうち、特に重要なもので、将来の保全活用計画について所有者の同意が得られたものを「認定」しています。

この要綱は、歴史的景観の保全を目的としており、外観を保全する代わりに、内部は使いやすいように改修することができ、凍結的な保存より、現役で長く使い続けてもらうことを狙いとしています。

平成 28 年度は、戸塚区俣野町にある「俣野別邸」を新たに認定し、平成 29 年 3 月末で、「登録」は 206 件、そのうち「認定」は 92 件となりました。

認定歴史的建造物になると、外観保全、耐震改修（構造補強）や維持管理の費用が助成の対象となります。平成 28 年度は、山手 26 番館（平成 25 年度認定）他 1 件の外観保全工事などの費用の一部を助成しました。

また、平成 25 年度に創設した「特定景観形成歴史的建造物制度」に基づき、「旧藤本家住宅主屋及び東屋」を指定しました。

さらに、横浜サポーターズ寄附金（ふるさと納税）の運用を開始し、32 件、565 万 8 千円のご寄附をいただき、歴史的建造物サインの再整備に活用しました。

## 1 歴史的建造物の保全活用

### (1) 歴史的建造物の登録

歴史を生かしたまちづくり要綱（第4条）に基づき景観上価値がある歴史的建造物を登録しています。平成27年度末までに203件の歴史的建造物を登録しました。

平成28年度は戦後に建築された建物として初めて「野毛都橋商店街ビル」（中区・近代建築）ほか計3件を登録しました。

#### <登録歴史的建造物総括表>

| 種 別         | ～平成27年度 | 平成28年度 | 合 計  |
|-------------|---------|--------|------|
| 社 寺         | 23件     | -      | 23件  |
| 古 民 家       | 28件     | 1件     | 29件  |
| 近代建築（除：西洋館） | 54件     | 1件     | 55件  |
| 西 洋 館       | 38件     | -      | 38件  |
| 近 代 和 風     | 5件      | 1件     | 6件   |
| 土 木 産 業 遺 構 | 55件     | -      | 55件  |
| 合 計         | 203件    | 3件     | 206件 |

### (2) 歴史的建造物の認定

登録歴史的建造物のうち特に重要な価値を有する歴史的建造物について、歴史を生かしたまちづくり要綱（第10条）に基づき認定しています。平成27年度末までに91件の歴史的建造物を認定しました。

平成28年度は「俣野別邸」（戸塚区・西洋館）の1件を認定しました。

#### <認定歴史的建造物総括表>

| 種 別         | ～平成27年度 | 平成28年度 | 合 計 |
|-------------|---------|--------|-----|
| 社 寺         | 0件      | -      | 0件  |
| 古 民 家       | 14件     | -      | 14件 |
| 近代建築（除：西洋館） | 32件     | -      | 32件 |
| 西 洋 館       | 21件     | 1件     | 22件 |
| 近 代 和 風     | 0件      | -      | 0件  |
| 土 木 産 業 遺 構 | 24件     | -      | 24件 |
| 合 計         | 91件     | 1件     | 92件 |

### (3) 歴史的建造物台帳登録調査

歴史的建造物の現状を調査した台帳及び概要調査について、現地調査や資料収集を基に、西区・中区を対象に更新しました。また、そのデータベース化も行いました。

**(4) 現状変更行為に対する指導及び助言**

歴史を生かしたまちづくり要綱（第7条・第15条）に基づき歴史的建造物の現状変更行為に対する指導及び助言を行ないます。

平成28年度は、認定歴史的建造物の改修等、5件の現状変更行為届出書が提出され、個別に指導及び助言を行ないました。

また、横浜銀行協会について「夜景演出に供する投光施設の維持管理に関する保全契約」を、俣野別邸について「保全活用計画」を策定しました。

**(5) 歴史的建造物の保全契約**

歴史を生かしたまちづくり要綱（第9条）に基づき歴史的建造物の保全活用について所有者と保全契約を締結しています。

平成27年度末までに2件（「横浜海洋会館」「ジャパンエクスプレスビル」）の保全契約を締結しています。

平成28年度に新規に保全契約を締結した歴史的建造物はありません。

**(6) 特定景観形成歴史的建造物**

「横浜市魅力ある都市景観の創造に関する条例」（第14条の2）に基づき特定景観形成歴史的建造物の指定を行ないます。特定景観形成歴史的建造物に指定されると建築審査会の同意を得て建築基準法の適用除外とすることが可能となります（建築基準法第3条第1項第3号）。

平成27年度末までに1件を指定しました。

平成28年度は「旧藤本家住宅主屋及び東屋」の1件を指定しました。

**(7) 歴史的建造物に対する助成**

歴史を生かしたまちづくり要綱（第21条）に基づき歴史的建造物の保全活用に関する改修、維持管理等に対して助成を行ないます。

平成28年度は、調査設計1件、外観保全2件、維持管理27件に対する助成を行いました。

なお、山手26番館の外観保全工事には集約促進景観・歴史的風致形成推進事業（国補助）を充当しています。

<平成28年度外観保全等助成対象事業>

- ・ 横浜指路教会：外観保全工事（投光施設）・調査設計
- ・ 山手26番館：耐震改修・外観保全工事

**(8) 歴史的景観保全委員**

歴史を生かしたまちづくり要綱（第22条）に基づき、専門家の意見を取り入れ、歴史的景観の保全と活用を図るため歴史的景観保全委員を置いています。

平成28年度は12名の委員を置き、5月と12月に連絡調整会議を開催し歴史を生かしたまちづくりに関する意見の聴取を行ないました。また、個別の歴史的建造物の保全活用についても各担当委員から意見聴取を行いました。

(9) 文化財等の活用に関する検討

国指定文化財、市指定文化財及び登録文化財等の活用検討や保全に関する技術支援を行ないます。

平成 28 年度は、金澤園（金沢区・国登録文化財）の活用検討、旧日本綿花横浜支店事務所棟（中区・市指定文化財）、旧横浜生糸検査所附属倉庫事務所（中区・市指定文化財）の保全活用に関する技術的支援を行ないました。

また、横浜市新市庁舎用地の遺構の活用について技術的支援を行いました。

## 2 「歴史を生かしたまちづくり」に関する普及啓発

### (1) 技術者向け施工現場見学会の開催

横浜山手聖公会の外壁修繕工事に合わせ、所有者及び施工者の協力により、建築設計や施工などを行う技術者向けの現場見学会を5月24日に開催し、約40人の参加がありました。

### (2) 広報紙等の発行

歴史を生かしたまちづくり横濱新聞など歴史を生かしたまちづくりに関する市民向けの広報紙を発行しています。

<平成28年度新規広報物発行実績>

- ・ 歴史を生かしたまちづくり横濱新聞 第32号（平成28年11月30日発行）
- ・ 歴史を生かしたまちづくり横濱新聞 創刊号から第30号までの縮刷版

### (3) 歴史を生かしたまちづくりセミナーの開催

歴史を生かしたまちづくりに関する市民向けのセミナーを開催します。

平成28年度は「第39回歴史を生かしたまちづくりセミナー 石の記憶」と題し、7月16日に横浜山手聖公会で開催し、約90人の参加がありました。

### (4) 区や市民団体、歴史的建造物所有者との連携によるイベントの開催

歴史を生かしたまちづくりに関するイベントを区や市民団体と連携し実施します。

平成28年度は、建築基準法を適用除外（建築基準法第3条第1項第3号「その他条例」）とすることができる制度の研究や自治体職員への研修をも目的とした「『その他条例』を中心とした歴史的建造物の利活用に係る研究会」への後援を行いました。

### (5) その他のメディアによる普及啓発

- ・ 神奈川新聞 朝刊1面「横浜の歴史的建造物 都市の<sup>レガシー</sup>記憶」連続掲載（平成29年2月から6月まで）
- ・ t v k はまナビ「別邸・別荘文化特集」

### (6) サイン等の整備

認定歴史的建造物の表示や街路での歴史的建造物案内サインの整備等を行なっています。

平成28度は横浜サポーターズ寄附金（ふるさと納税）を充当し「損保ジャパン日本興亜横浜馬車道ビル」の名称変更に伴い路上の解説サインを更新しました。

### 3 その他

#### (1) 歴史を生かしたまちづくり相談室の運営

歴史的建造物所有者支援の一環として公益社団法人横浜歴史資産調査会と連携し「歴史を生かしたまちづくり相談室を運営しています。

平成 28 年度は新たに 4 件の相談を受けました。

<歴史を生かしたまちづくり相談室概要>

- ・ 連絡先：公益社団法人横浜歴史資産調査会（ヨコハマヘリテイジ）内「歴史を生かしたまちづくり相談室」係
- ・ 電話：045-651-1730 ※毎週水曜日 午前 10 時から午後 3 時まで（年末・年始・祝日を除く）
- ・ F A X 045-651-1730（随時）
- ・ Eメール yh-info@yokohama-heritage.or.jp（随時）
- ・ 郵 送：〒231-0012 横浜市中区相生町 3-6-1 泰生ビル 405 号室（随時）

#### (2) 関連団体等

公益社団法人横浜歴史資産調査会と基本協定（平成 27～31 年度）及び実施協定を締結し歴史を生かしたまちづくりに関する取組を推進します。

また、歴史的景観都市連絡協議会に加盟し情報交換等を行なっています。

#### (3) 新たな制度検討

平成 25 年 11 月に策定した「『歴史を生かしたまちづくり』の推進について」等に基づき、個別の施策について歴史を生かしたまちづくりに関する制度について検討しています。

平成 28 年度から、横浜サポーターズ寄附金（ふるさと納税）「歴史的景観保全活用事業」の運用を開始しました。

<ふるさと納税実績（平成 29 年 4 月 1 日現在）>

金額：5,658,000 円

件数：32 件（個人 31 件、法人 1 件）

# 横浜市認定歴史的建造物一覧表

平成 29 年 3 月末現在

92 件

|    | 名 称                | 種 別    | 所在地 | 認定時期          |
|----|--------------------|--------|-----|---------------|
| 1  | 損保ジャパン日本興亜横浜馬車道ビル  | 近代建築   | 中 区 | 昭和 63(1988)年度 |
| 2  | 横浜指路教会             | 近代建築   | 中 区 | 昭和 63(1988)年度 |
| 3  | カトリック山手教会聖堂        | 近代建築   | 中 区 | 昭和 63(1988)年度 |
| 4  | 旧横浜船渠第 2 号ドック      | 土木産業遺構 | 西 区 | 平成元(1989)年度   |
| 5  | 横浜海岸教会             | 近代建築   | 中 区 | 平成元(1989)年度   |
| 6  | 横浜山手聖公会            | 近代建築   | 中 区 | 平成元(1989)年度   |
| 7  | 岩田健夫邸              | 西洋館    | 中 区 | 平成元(1989)年度   |
| 8  | 横浜第 2 合同庁舎(旧生糸検査所) | 近代建築   | 中 区 | 平成 2(1990)年度  |
| 9  | 旧澤野家長屋門            | 古民家    | 鶴見区 | 平成 2(1990)年度  |
| 10 | 石橋邸                | 西洋館    | 中 区 | 平成 3(1991)年度  |
| 11 | 藤本家住宅旧主屋           | 古民家    | 鶴見区 | 平成 3(1991)年度  |
| 12 | 関東学院中学校            | 近代建築   | 南 区 | 平成 3(1991)年度  |
| 13 | ホテルニューグランド本館       | 近代建築   | 中 区 | 平成 4(1992)年度  |
| 14 | 綜通横浜ビル(旧本町旭ビル)     | 近代建築   | 中 区 | 平成 5(1993)年度  |
| 15 | 旧東伏見邦英伯爵別邸         | 近代建築   | 磯子区 | 平成 5(1993)年度  |
| 16 | 松原邸                | 西洋館    | 中 区 | 平成 6(1994)年度  |
| 17 | 宇田川邸               | 西洋館    | 中 区 | 平成 6(1994)年度  |
| 18 | BEATTY邸(ビーティ邸)     | 西洋館    | 中 区 | 平成 6(1994)年度  |
| 19 | エリスマン邸             | 西洋館    | 中 区 | 平成 6(1994)年度  |
| 20 | ブラフ 18 番館          | 西洋館    | 中 区 | 平成 6(1994)年度  |
| 21 | 中澤高枝邸              | 西洋館    | 港北区 | 平成 6(1994)年度  |
| 22 | カトリック横浜司教館別館       | 西洋館    | 中 区 | 平成 6(1994)年度  |
| 23 | カトリック横浜司教館(旧相馬永胤邸) | 西洋館    | 中 区 | 平成 7(1995)年度  |
| 24 | 旧安西家住宅主屋           | 古民家    | 瀬谷区 | 平成 7(1995)年度  |
| 25 | 旧大岡家長屋門            | 古民家    | 瀬谷区 | 平成 7(1995)年度  |
| 26 | 旧金子家住宅主屋           | 古民家    | 戸塚区 | 平成 7(1995)年度  |
| 27 | 旧円通寺客殿(旧木村家住宅主屋)   | 古民家    | 金沢区 | 平成 8(1996)年度  |
| 28 | 新川家住宅主屋            | 古民家    | 旭 区 | 平成 8(1996)年度  |
| 29 | 旧臨港線護岸             | 土木産業遺構 | 中 区 | 平成 8(1996)年度  |
| 30 | 港一号橋梁              | 土木産業遺構 | 西 区 | 平成 8(1996)年度  |
| 31 | 港二号橋梁              | 土木産業遺構 | 中 区 | 平成 8(1996)年度  |
| 32 | 港三号橋梁(旧大岡川橋梁)      | 土木産業遺構 | 中 区 | 平成 8(1996)年度  |

|    | 名 称                                    | 種 別    | 所在地   | 認定時期         |
|----|--|--------|-------|--------------|
| 33 | 長浜ホール（横浜検疫所長浜措置場旧細菌検査室、横浜検疫所長浜措置場旧事務棟） | 近代建築   | 金沢区   | 平成9(1997)年度  |
| 34 | 旧清水製糸場本館（天王森泉館）                        | 古民家    | 泉 区   | 平成9(1997)年度  |
| 35 | 横浜情報文化センター（旧横浜商工奨励館）                   | 近代建築   | 中 区   | 平成10(1998)年度 |
| 36 | 岡田邸                                    | 西洋館    | 中 区   | 平成10(1998)年度 |
| 37 | 横浜地方・簡易裁判所（旧横浜地方裁判所）                   | 近代建築   | 中 区   | 平成10(1998)年度 |
| 38 | 山手資料館                                  | 西洋館    | 中 区   | 平成11(1999)年度 |
| 39 | 山手234番館                                | 西洋館    | 中 区   | 平成11(1999)年度 |
| 40 | せせらぎ公園古民家(旧内野家住宅主屋)                    | 古民家    | 都筑区   | 平成12(2000)年度 |
| 41 | 東隧道                                    | 土木産業遺構 | 保土ヶ谷区 | 平成12(2000)年度 |
| 42 | 大原隧道                                   | 土木産業遺構 | 南 区   | 平成12(2000)年度 |
| 43 | 浦舟水道橋                                  | 土木産業遺構 | 南 区   | 平成12(2000)年度 |
| 44 | 馬車道大津ビル(旧東京海上火災保険ビル)                   | 近代建築   | 中 区   | 平成12(2000)年度 |
| 45 | 旧新井家住宅主屋(八巻家)                          | 古民家    | 中 区   | 平成12(2000)年度 |
| 46 | 旧横浜市外電話局                               | 近代建築   | 中 区   | 平成12(2000)年度 |
| 47 | 横浜税関                                   | 近代建築   | 中 区   | 平成12(2000)年度 |
| 48 | 旧英国七番館(戸田平和記念館)                        | 近代建築   | 中 区   | 平成12(2000)年度 |
| 49 | ベーリック・ホール                              | 西洋館    | 中 区   | 平成13(2001)年度 |
| 50 | 山手76番館                                 | 西洋館    | 中 区   | 平成13(2001)年度 |
| 51 | 中丸家長屋門                                 | 古民家    | 泉 区   | 平成13(2001)年度 |
| 52 | 響橋                                     | 土木産業遺構 | 鶴見区   | 平成13(2001)年度 |
| 53 | 昇龍橋                                    | 土木産業遺構 | 栄 区   | 平成13(2001)年度 |
| 54 | 山手隧道                                   | 土木産業遺構 | 中 区   | 平成13(2001)年度 |
| 55 | 赤レンガ倉庫                                 | 近代建築   | 中 区   | 平成13(2001)年度 |
| 56 | 日産自動車株式会社横浜工場1号館（旧本社ビル）                | 近代建築   | 神奈川区  | 平成14(2002)年度 |
| 57 | 旧奥津家長屋門並びに土蔵                           | 古民家    | 緑 区   | 平成14(2002)年度 |
| 58 | 新港橋梁                                   | 土木産業遺構 | 中 区   | 平成14(2002)年度 |
| 59 | 旧東京三菱銀行横浜中央支店                          | 近代建築   | 中 区   | 平成15(2003)年度 |
| 60 | 旧富士銀行横浜支店(元安田銀行横浜支店)                   | 近代建築   | 中 区   | 平成15(2003)年度 |
| 61 | 旧横浜銀行本店別館(元第一銀行横浜支店)                   | 近代建築   | 中 区   | 平成15(2003)年度 |
| 62 | 伊東医院                                   | 近代建築   | 戸塚区   | 平成15(2003)年度 |
| 63 | 旧ウイトリッヒ邸                               | 西洋館    | 戸塚区   | 平成15(2003)年度 |
| 64 | 旧居留地消防隊地下貯水槽                           | 土木産業遺構 | 中 区   | 平成15(2003)年度 |
| 65 | 打越橋                                    | 土木産業遺構 | 中 区   | 平成15(2003)年度 |

|    | 名 称  | 種 別    | 所在地   | 認定時期            |
|----|--|--------|-------|-----------------|
| 66 | 旧横浜松坂屋西館                                     | 近代建築   | 中 区   | 平成 16 (2004) 年度 |
| 67 | 桜道橋  | 土木産業遺構 | 中 区   | 平成 16 (2004) 年度 |
| 68 | 霞橋   | 土木産業遺構 | 西区・南区 | 平成 16 (2004) 年度 |
| 69 | インド水塔  | 近代建築   | 中 区   | 平成 17 (2005) 年度 |
| 70 | 谷戸橋  | 土木産業遺構 | 中 区   | 平成 17 (2005) 年度 |
| 71 | 西之橋  | 土木産業遺構 | 中 区   | 平成 17 (2005) 年度 |
| 72 | 旧バーナード邸                                      | 西洋館    | 中 区   | 平成 18 (2006) 年度 |
| 73 | 山手 8 9 - 8 番館                                | 西洋館    | 中 区   | 平成 18 (2006) 年度 |
| 74 | 旧平沼専蔵別邸亀甲積擁壁及び煉瓦塀                            | 土木産業遺構 | 西 区   | 平成 18 (2006) 年度 |
| 75 | 二代目横浜駅基礎等遺構(第二代横浜駅駅舎基礎遺構および横浜共同電燈会社裏高島発電所遺構) | 土木産業遺構 | 西 区   | 平成 18 (2006) 年度 |
| 76 | フェリス女学院 10 号館(旧ライジングサン石油会社社宅)                | 近代建築   | 中 区   | 平成 19 (2007) 年度 |
| 77 | ストロングビル                                      | 近代建築   | 中 区   | 平成 19 (2007) 年度 |
| 78 | 旧灯台寮護岸                                       | 土木産業遺構 | 中 区   | 平成 20 (2008) 年度 |
| 79 | 横浜税関遺構 鉄軌道及び転車台                              | 土木産業遺構 | 中 区   | 平成 21 (2009) 年度 |
| 80 | インペリアルビル                                     | 近代建築   | 中 区   | 平成 22 (2010) 年度 |
| 81 | 慶應義塾大学(日吉)寄宿舍(南寮及び浴場棟)                       | 近代建築   | 港北区   | 平成 23 (2011) 年度 |
| 82 | 井伊直弼像台座及び水泉                                  | 土木産業遺構 | 西区    | 平成 23 (2011) 年度 |
| 83 | フェリス女学院6号館別館                                 | 西洋館    | 中 区   | 平成 24 (2012) 年度 |
| 84 | 河合邸  | 西洋館    | 中 区   | 平成 24 (2012) 年度 |
| 85 | 旧神奈川県産業組合館                                   | 近代建築   | 中 区   | 平成 24 (2012) 年度 |
| 86 | 旧神奈川労働基準局(元日本綿花横浜支店倉庫)                       | 近代建築   | 中 区   | 平成 25 (2013) 年度 |
| 87 | 山手 26 番館                                     | 西洋館    | 中 区   | 平成 25 (2013) 年度 |
| 88 | 霞橋(旧江ヶ崎跨線橋)                                  | 土木産業遺構 | 中 区   | 平成 25 (2013) 年度 |
| 89 | 旧横浜生糸検査所附属生糸絹物専用 B 号倉庫及び C 号倉庫               | 近代建築   | 中 区   | 平成 25 (2013) 年度 |
| 90 | 鈴木家長屋門                                       | 古民家    | 旭 区   | 平成 26 (2014) 年度 |
| 91 | 田邊家住宅 (日吉の森庭園美術館)                            | 古民家    | 港北区   | 平成 27 (2015) 年度 |
| 92 | 侯野別邸   | 西洋館    | 戸塚区   | 平成 28 (2016) 年度 |

## 横浜市登録歴史的建造物保全契約一覧表

平成 29 年 3 月末現在  
2 件

|   | 名 称          | 種 別  | 所在地 | 契約期間                                  |
|---|--------------|------|-----|---------------------------------------|
| 1 | 横浜海洋会館       | 近代建築 | 中区  | 平成 22 年 3 月 31 日～<br>平成 32 年 3 月 30 日 |
| 2 | ジャパンエクスプレスビル | 近代建築 | 中区  | 平成 26 年 5 月 7 日～<br>平成 36 年 5 月 6 日   |

## 横浜市特定景観形成歴史的建造物一覧表

平成 29 年 3 月末現在  
2 件

|   | 名 称              | 種 別 | 所在地 | 指定時期            |
|---|------------------|-----|-----|-----------------|
| 1 | 旧円通寺客殿（旧木村家住宅主屋） | 古民家 | 金沢区 | 平成 27 (2015) 年度 |
| 2 | 旧藤本家住宅主屋及び東屋     | 古民家 | 鶴見区 | 平成 28 (2016) 年度 |

## 第14期 横浜市歴史的景観保全委員

平成 29 年 3 月末現在  
(五十音順)

|    | 氏 名   | 現 職 等                        |
|----|-------|------------------------------|
| 1  | 青木 祐介 | 横浜都市発展記念館 主任調査研究員            |
| 2  | 内田 青蔵 | 神奈川大学教授 (専門: 建築史)            |
| 3  | 大野 敏  | 横浜国立大学大学院教授 (専門: 日本建築史・保全修復) |
| 4  | 小澤 美那 | (株)勝烈庵 山手資料館館長 (歴史的建造物保全活動者) |
| 5  | 黒田 泰介 | 関東学院大学教授 (専門: 建築史)           |
| 6  | 後藤 治  | 工学院大学教授 (専門: 都市計画・建築史)       |
| 7  | 嶋田 昌子 | NPO 法人横浜シティガイド協会理事 (有識者)     |
| 8  | 関 和明  | 関東学院大学教授 (専門: 建築史、西洋館)       |
| 9  | 中藤 誠二 | 関東学院大学准教授 (専門: 土木工学)         |
| 10 | 水沼 淑子 | 関東学院大学教授 (専門: 住宅・生活文化)       |
| 11 | 宮 晶子  | 建築事務所 STUDIO 2A 代表 (有識者・建築家) |
| 12 | 吉田 鋼市 | 横浜国立大学名誉教授 (専門: 建築史、近代建築)    |

※任期 平成 28 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

## 歴史的景観保全事業 事業費の推移

(千円)

| 年度       | 予算     |         | 決算     |         |
|----------|--------|---------|--------|---------|
|          | 事業費    | 市債＋一般財源 | 事業費    | 市債＋一般財源 |
| 平成 17 年度 | 22,000 | 22,000  | 35,615 | 28,019  |
| 平成 18 年度 | 74,000 | 74,000  | 41,507 | 40,707  |
| 平成 19 年度 | 67,500 | 62,300  | 68,867 | 62,617  |
| 平成 20 年度 | 68,000 | 48,000  | 94,370 | 62,370  |
| 平成 21 年度 | 76,300 | 52,300  | 76,098 | 42,098  |
| 平成 22 年度 | 48,900 | 7,070   | 45,496 | 4,078   |
| 平成 23 年度 | 62,550 | 15,430  | 61,124 | 15,414  |
| 平成 24 年度 | 80,820 | 80,820  | 80,356 | 80,356  |
| 平成 25 年度 | 70,595 | 70,595  | 39,718 | 39,718  |
| 平成 26 年度 | 65,080 | 65,080  | 77,074 | 77,074  |
| 平成 27 年度 | 36,950 | 36,950  | 36,044 | 36,044  |
| 平成 28 年度 | 42,045 | 32,045  | 33,710 | 28,019  |
| 平成 29 年度 | 57,110 | 41,110  | -      | -       |